

かめやま教育通信

第22回



学びを支える学習の基盤づくりを！

いきなりですが、問題です。

(平成30年度全国学力・学習状況調査小学6年生算数A問題より)

Q. ある会場に子どもたちが集まりました。集まった子どもたち200人のうち80人が小学生でした。小学生の人数は、集まった子どもたちの人数の何%ですか？下の①から④までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- ①0.4% ②2.5% ③40% ④80%

正解は③の「40%」

亀山市の小学6年生の平均正答率は48.1%

全国の小学6年生の平均正答率は52.9%

また、亀山市では33.5%の小学6年生が、②の「2.5%」と解答しており、基礎・基本の着実な定着に課題が見られました。

漢字や言葉の意味、文法、文の構成の理解、小数・分数、割合の計算など、基礎・基本の着実な定着には、毎日の家庭学習が重要になります。

学校での学習内容には、漢字や英単語、計算など、反復学習が定着に欠かせないものが多いです。また、授業で理解したつもりでも、時間が経つと忘れてしまうこともあるでしょう。

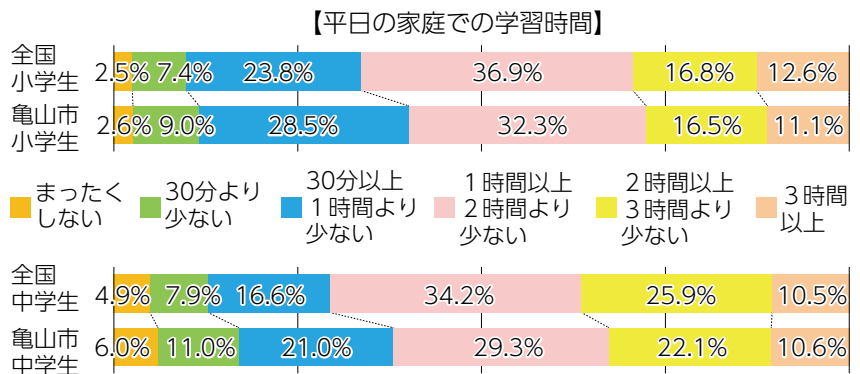
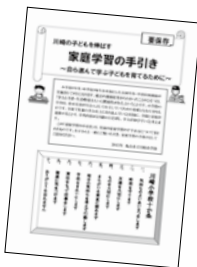
学校で学習したことを家庭で繰り返し学習することで、理解・習熟が深まり、しっかりと身に付けることができます。

そのためにも、家庭での子どもが学習習慣をつけるための環境づくりや、お子さんへの支援をお願いします。

家庭での学習習慣をつけるために

右グラフのように、市内小・中学生の平日の家庭での学習時間は全国平均に比べて少ない傾向にあります。

各学校からの「家庭学習の手引き」を参考に、各家庭での学習の支援をお願いします。



家庭学習のポイント

●「自主学習」は学力向上につながります！

自分で計画を立て、興味・関心に応じて行うことで、さらに効果が高まります。

【自主学習の例】

漢字、計算、予習、復習、発展学習、問題づくり、自分の苦手な問題、身の回りの数学探し、作文、地図・新聞等資料活用学習など、興味に応じて進めましょう。復習は、学習の後すぐに行うと効果があります。

●テレビ、スマートフォン、インターネットなどの「メディア」とは上手な付き合い方を！

例えば、テレビの視聴は1日1時間以内にするなど、計画を立て短い時間にとどめましょう。テレビなどを見ているときは脳の前頭前野の血流が減り、ほとんど働いていないことがわかってきました。逆に、運動や読書などを行うことで、前頭前野は活発に働くと言われていました。

また、インターネット等を使用するときは、マナーやルールを守り、各種フィルタリング設定をするなど、安全に使用できるよう働きかけをお願いします。

●「いつ」するのか、「どこ」でするのかを決めよう！

いつ:「家に帰ったらすぐ」「夕食の前」など、生活リズムに合わせて。どこで:「勉強部屋で」「リビングで」など、一番集中できる場所で。毎日こつこつと続けていくことで、習慣になっていきます。

●「宿題」は必ずしよう！

学校で勉強したことを家で反復して学習すると理解が深まります。家庭学習の習慣をつけるためにも、宿題は必ずしましょう。

